

「蹴球都市 藤枝」の個別事業者の営業状況等に応じた施策レコメンドによる更なる生産性向上事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- ・ 藤枝市は、Jリーグの試合開催時に一度に4,000人以上の集客があり、年間16万人以上が訪れるスポーツツーリズムの街である。
- ・ 一方で、宿泊者のうち半数が周遊をせず、日帰り客の消費額は1,800円と、近隣市町の約半額である。原因としては、周遊や消費を促すための施策数が少ないことが挙げられる。地域内には、①施策を講じている事業者、②施策のアイデアが無い事業者、③施策のアイデアはあるが成功確率が低いためチャレンジしない事業者の3種類が存在し、②③の割合が8割以上を占めている。
- ・ そのため、施策を実施している事業者のノウハウを集約し、生成AIに学習させることで、他の事業者にも有効な施策をレコメンドし、取り組みやすい環境を整える。
- ・ 地域全体で施策の実行と成果の共有を繰り返すことで、生成AIの精度が向上し、観光地経営の高度化と地域経済の活性化に繋がる好循環を構築する。

事業概要

事業者が数多くの施策に取り組み、業務改善・売上拡大それぞれの優良事例創出のため、生成AIを活用した施策レコメンドに取り組む。また、LINEを活用し、50の事業者に対し生成AIによる施策レコメンド(アウトプット)を提供するとともに、事業者自身が生成AIに対してフィードバックや情報入力(インプット)を行うことで、事業者と共に「AIを育てていく」サイクルの構築を目指す。

取組地域： 静岡県藤枝市

コンソーシアム名： 藤枝ICTコンソーシアム

代表事業者： 一般社団法人藤枝市観光協会

実証内容

1. 施策実施事業者のノウハウの集約と生成AIへの学習による知見の蓄積
2. 生成AIによる施策レコメンドとノウハウ共有による意識醸成と手法提供
3. 生成AIのレコメンド活用による施策実行と地域全体での経営高度化の推進

目標値

KGI 地域事業者の生産性向上1.25倍(10事業者)

KPI 地域事業者から生成AIへの情報インプット(200回)

本事業では、コンソーシアムの強みを最大限に活かし、双方向コミュニケーションツール（LINE）を用いて、50事業者に、生成AIによる施策レコメンド（アウトプット）と売上情報や生成AIのフィードバック（インプット）を促す。

